

市民のみなさまへ

藤岡市役所 市民環境部 環境課
(連絡先 0274-40-2264)**ヒアリについて**

ヒアリは平成29年5月26日に兵庫県尼崎港において国内最初に発見されました。以来、5都府県（東京都、愛知県、大阪府、兵庫県、茨城県）8カ所で確認され、連日マスコミ報道がなされています。発見されたアリは殺虫処分され、国などでは発見場所周辺への影響を調査しています。

ヒアリは強い毒を持った南米原産の特定外来生物で、女王アリは1日に2,000個の卵を産む能力があるといわれており、高い繁殖力を維持しながら世界各国に広がっています。

日本には海外（中国、台湾、米国など）から運ばれたコンテナなどに紛れて入って来ました。ヒアリは昼行性で、攻撃的な習性があり、一度刺されると水泡状に腫れ、非常に激しい痛みが伴います。重篤な場合、アナフィラキシーショックにより死亡することもあります。

今後日本各地への拡散や生態系への影響が心配されるとともに、人や家畜などへの健康被害を最小限に食い止めていく対策が必要になります。**もしヒアリを見つけた場合は市販の殺虫剤などで速やかに殺処分し、[藤岡市役所環境課](#)にその状況を連絡しましょう。**

ヒアリの特徴

- 体長：2.5mm～6.5mm程で個体差が大きい。
- 体色：赤茶色でツヤがあり、腹部は暗色。
- 特徴：触覚は10節から成っており、先端の2つが大きい。
腹柄（腹部と胸部の間の節）が2節でコブ状。
お尻に毒針がある。何度でも刺すことができる。
- 巣：直径25cm～60cm、高さ15cm～50cmの土で出来たドーム状のアリ塚。
日本に土で大きなアリ塚を作るアリはいない。

刺された際の症状

程度	症状	備考
軽	痛み、かゆみ	刺された部位に激しい痛みが走り、しばらくするとかゆくなります。10時間ほど経過すると膿になります。
中	じんましん	刺された部位を中心に腫れが広がり、部分的、または全身にかゆみを伴うじんましんが現れます。刺されてから数分から数十分後に発症します。
重	呼吸困難、血圧低下、意識障害	刺されてから数分から数十分後に息苦しさや激しい動悸、めまいが発生し、進行すると意識を失うこともあります。アナフィラキシーの可能性が高く、命の危険につながります。



刺された場合の対処方法

- ① 20～30 分程度安静にし様子を見る。その後、血圧低下や呼吸困難など容体が急変した場合は、救急車等を利用し受診する。
- ② 受診の際は「アリに刺された」「アナフィラキシーショックの恐れがある」ことを伝える。
※ヒアリの属にはハチ毒との共通成分が含まれており、過去ヒアりに刺されたことがなくてもハチに刺されたことがある方はアナフィラキシーショックになるの恐れがあります。
 医師に相談することでアレルギー反応を緩和できる自己注射キット（エピペン）を処方してもらえるので、用意しておくこともできます。軽・中度の症状には抗ヒスタミン剤の投与も有効です。

駆除方法

駆除方法	即応性	実効性	備 考
熱湯をかける	○	×	熱湯を巣穴とその周辺に注ぐ。直接かかるアリは死ぬが、 巣穴の深部にいるヒアリは生き残っています。
液剤をまく	○	△	巣に直接薬をまく。液剤に触れたヒアリだけでなく、そのヒアリが接触したヒアリにも駆除効果が及びますが、 他の昆虫類にも影響があります。
ベイト剤の設置	△	◎	顆粒状・ゼリー状の毒餌をヒアリの行列内や巣の周辺に設置する。 時間がかかり、毒餌が持ち去られるたびに補充が必要ですが、巣の内部まで駆除可能。

国内に生息する類似したアリとの比較

ヒアリ	ヒメアリ属
	
クシケアリ属	オオズアリ属
